

# ハローワーク瀬戸 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ①地方自治体、商工会議所等との連携の推進

当所・瀬戸市・尾張旭市・瀬戸商工会議所・尾張旭市商工会・企業で構成される「瀬戸・尾張旭雇用対策協議会」において、各組織連携の下、大規模就職フェアの開催や高校教諭の事業所見学会、高校教諭と企業との意見交換会等を実施し、新規学卒者や中途採用者の地元就職を進めました。

#### ②求人充足への取り組み

求人充足数の目標達成に向け、ミニ面接会を15回開催し、各面接会ごとに、40人以上の求職者に参加を勧奨しました。企業、求職者の双方から、一度に複数の相手と面談できる機会として好評でした。

#### ③雇用保険受給者の早期再就職件数

早期再就職のメリット周知について、雇用保険説明会において、再就職手当シュミレーションリーフレットを全員に配布するとともに、1月以降は資格決定時に、早期再就職のメリット、デメリットについてのパンフを手交するとともに、雇用保険説明会での説明内容を統一し、早期再就職に重点を置いた内容に変更しました。

### （2）サービスの改善・業務改善を図った事項

瀬戸市と連携することで、より広い対象者に対し周知・広報が可能となるため、面接会やイベントについて瀬戸市と事業の連携に取り組みました。

・12月に、瀬戸市との共催により、例年実施している育児や介護と仕事の両立を希望する方向けの面接会に加え、新たにシニア向け面接会を開催しました（シニアの面接者15名、両立の面接者28名。）。

・瀬戸市が開催した子育て中の母親向けイベントにおいて、対象者向けの求人票の冊子を作成し、ブースに設置することで、HWの利用促進につなげました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

①ミニ面接会について、15回開催しましたが、就職者数が目標に達しませんでした。令和2年度に開催する際は、求職者の要望を参考に事業所の選定を進め、併せて求人者には正社員求人への転換、求人要件の緩和、条件アップ等を勧奨するなどし、面接会での就職件数の増加に取り組めます。

②自治体が進めている新規企業誘致情報について、自治体から提供を受けて、人材確保分野で連携を図ります。

③更なる地方自治体との連携を推進し、就職氷河期世代の就職促進のためのイベントへの協力を要請するなど、所の目標に向けて取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

瀬戸・尾張旭地域は、管轄地域が小さいこともあり、ハローワークと各市、商工団体等との連携が取れており、会議や打ち合わせ等で情報交換を行う機会が多くあります。そのため、各組織の重点課題等について、情報共有や要望等の伝達がスムーズであり、要望への反応も早い状況があり、今後もこのメリットを最大限活用していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給 者等の就職件 数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	正社員求人数	正社員就職 件数	
実績	1,878	1,471	633	38.7%	44.7%	62	56	5,409	868	
目標	1,897	1,438	569	41.8%	47.3%	43	56	5,863	955	
目標達成率	98%	102%	111%	92%	94%	144%	100%	92%	90%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率